

2009年度(2009年1月1日から
2009年12月31日まで)事業計画書

1. 学術的会合

- 1-1. 年次大会・秋季大会
1-1-1. 第64回年次大会
会期: 3月27日(金)~30日(月)
会場: 立教学院池袋キャンパス(立教大学, 立教池袋中学・高校)(東京都豊島区西池袋)
1-1-2. 秋季大会
1-1-2-1. 素粒子論, 素粒子実験, 宇宙線・宇宙物理の各領域
会期: 9月10日(木)~13日(日)
会場: 甲南大学(神戸市東灘区)
1-1-2-2. 理論核物理, 実験核物理の各領域
会期: 10月13日(月)~17日(土)
会場: ハワイ島
注: アメリカ物理学会との合同開催
1-1-2-3. 上記以外の領域(主に物性関係)
会期: 9月25日(金)~28日(月)
会場: 熊本大学(熊本市)
1-2. 第5回 Jr. セッション
会期: 3月28日(土)
会場: 第64回年次大会(立教学院池袋キャンパス)
1-3. 市民向け講演会
年次大会, 秋季大会開催時に高校生・一般市民向けの講演会を開催する。
なお, 年次大会会場では2008年度ノーベル物理学賞受賞者による記念講演会を企画中。
1-4. 国際会議の主催・共催
1-4-1. 素粒子物理学における測定器技術に関する国際会議
主催: International Union of Pure and Applied Physics (IUPAP)
会期: 2009年3月12日(木)~17日(火)
場所: つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園)
本会代表運営委員: 小松原 健 (KEK)
1-4-2. 2009年K中間子国際会議
(2009 Kaon International Conference (KAON09))
主催: KAON09 組織委員会
会期: 2009年6月9日(火)~12日(金)
場所: 高エネルギー加速器研究機構セミナーホール(茨城県つくば市大穂)
本会代表運営委員: 小松原 健 (KEK)
1-4-3. 第9回超伝導国際会議M2S-IX
主催: 日本学術会議(予定), 国際純粋・応用物理学連合(IUPAP)
会期: 2009年9月7日(月)~12日(土)
場所: 新宿京王プラザホテル(東京都新宿区西新宿)
本会代表運営委員: 広井善二(東大物性研)
1-5. その他の学術的会合
1-5-1. 科学セミナー
テーマ: (検討中)
会期: (未定)
場所: (未定)
1-5-2. 公開講座(科研費補助金を受けて開催予定)
対象: 主に高校生
1-5-2-1. 理事会企画
テーマ: 暗黒の宇宙を探る
会期: 11月7日(土)午後
場所: 東京大学大学院数理科学研究科大講義室(東京都目黒区)
1-5-2-2. 大阪支部企画
テーマ: 素粒子の対称性の破れ
ーノーベル物理学賞を記念してー
会期: 11月29日(日)午後
場所: 大阪府立大学学術情報センターUホール白鷺(大阪府堺市)
1-5-3. 楽しい物理教室
国立科学博物館, 日本物理教育学会との共催で, 年5回開催
対象: 小学高学年・中学生

- 場所: 国立科学博物館(東京・上野)
1-5-4. 世田谷区中学生講座
世田谷区教育委員会に協力して, 年5回程度開催
対象: 世田谷区内の中学生
1-5-5. 支部例会等
北海道, 東北, 新潟, 名古屋, 北陸, 京都, 大阪, 中国, 四国, 九州の各支部において適宜開催。
1-5-6. 国内会議, 国際会議等の共催・協賛・後援
他学協会等主催の国内会議, 国際会議等を理事会で審議のうえ共催・協賛・後援。
2. 刊行関係
2-1. 日本物理学会誌
第64巻1号~12号, 月刊, A4判, 毎号120ページ, 各18,000部発行。
なお, 年次大会・秋季大会のプログラムを3月および8月に増刊号としてそれぞれ発行予定。
2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)
Vol. 78 No. 1~13(No. 13はVolume Index), 月刊(電子版は月2回発行)。A4判, 毎号260ページ(No. 13は85ページ予定), 各900部発行。
刊行業務は応用物理学会と協同運営するIPAPが行う。
また, Online版データの作成(2009年1月~12月刊行分)とSupplementも発行予定。
2-3. JPSJのデータベース化(科研費補助金を受けて作成予定)
全文検索テキストファイルを作成予定(過去20年間分)
2-4. その他
下記の研究資料等を発行し会員等の希望者に有料または無料で頒布する。
2-4-1. 講演概要集
年次大会・秋季大会の講演概要集各4分冊
2-4-2. 物理学論文選集
刊行しない
2-4-3. 科学セミナーテキストの紙版または電子版
2009年度に開催する科学セミナーテキストの紙版または電子版を作成予定
2-4-4. 大学の物理教育
3月, 7月, 11月の年3回発行
2-4-5. 公開講座テキスト(無料)
2009年度に開催する公開講座のテキスト
2-4-6. 会員名簿
書籍出版はしない
2-4-7. 2008年度ノーベル物理学賞記念出版物の発行
高校生, 一般向けに“物理学への誘い(仮題)”と題した出版物を発行予定。ただし, 製作には数年を予定。
3. 国際交流・協力関係
3-1. オーストラリア・ヨーロッパ・ドイツ・韓国・台湾・香港・メキシコ・ポーランド・アメリカ・イギリス, 等の物理学会, およびその他の諸団体との交流・協力
3-2. AAPPS (アジア太平洋物理学会連合) への参加・支援
3-3. AAPPS Bulletin 刊行への援助
3-4. ASPEN (Asian Physics Education Network) への協力
3-5. 開発途上国への JPSJ 別刷代援助および JPSJ 等の寄贈
3-6. IUPAP (International Union of Pure and Applied Physics) への支援
3-7. UNESCO PAC (Physics Action Council) への協力
3-8. APS (The American Physical Society) の Council Meeting への代表派遣
3-9. APPC (アジア太平洋物理学会議) への協力
3-10. IUPAP の Women in Physics への協力
4. 図書・雑誌の供覧および物理学史資料の利用
本会所蔵の図書・雑誌を会員の利用に供する。また本会所蔵の物理学史資料の利用希望に応じる。
5. 日本物理学会論文賞
JPSJ および PROGRESS 掲載論文の中から5篇以内を選び表彰する。

6. 日本物理学会若手奨励賞

学会講演，学術論文，学位論文などの中から，各領域が推薦し，理事会で選び表彰する。

7. キャリア支援センター

文部科学省が公募した「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」に応募し採択された事業名「物理学の資質を持つ人材活用のためのキャリアパス開発全国展開」については，本会内に設置した標記支援センターを中心に引き続き東京大学，金沢大学，お茶の水女子大学，神戸大学大学院人間発達環境学研究所の4つの機関と連携して遂行する。

8. 新公益法人化への対応について

2008年12月に新公益法人制度が施行され，本会も移行期間の5年以内に，公益社団法人または一般社団法人へ移行する必要がある，そのための移行スケジュールの作成および移行準備を行う。

9. その他

9-1. 理事会で適当と認められた事業
各種委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業等。

なお，上記のほか次の欧文誌を共同で発行する。

10-2. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)

本会との共同で理論物理学刊行会から発行。

Vol. 121 No. 1～6, Vol. 122 No. 1～6, 月刊

B5判，毎号約200ページ，各800部発行

創刊号からの電子版をインターネットで提供。

Supplement 数冊を発行予定。